# P56945 10/657,261

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

11-068962

(43)Date of publication of application: 09.03.1999

(51)Int.CI.

H04M 3/42 H04Q H04Q

(21)Application number: 09-220365

(71)Applicant: OKI ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing:

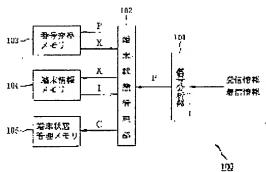
15.08.1997

(72)Inventor: ISHIKAWA KIYOSHI

# (54) DEAD MANAGING DEVICE FOR PRIVATE BRANCH ELECTRONIC EXCHANGE (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a call originating person by a system cordless service within an office that a cordless mobile equipment is in a busy state when a call is originated by a system cordless service within the office to the cordless mobile equipment using quasipublic roaming service.

SOLUTION: A terminal state managing memory 105 stores busy/non-busy information by each terminal information. In addition, when the cordless mobile equipment starts the speech of the semi-public roaming service, a terminal state managing part 102 first converts a PS number to an extension number by a number converting memory 103, next converts the extension number to terminal information by a terminal information memory and additionally rewrites stored information in the memory 105 so as to make busy/nonbusy information corresponding to terminal information in a busy state.



#### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

22.01.2001

Date of sending the examiner's decision of

rejection]

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3400306

[Date of registration]

21.02.2003

[Number of appeal against examiner's decision of rejection

Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

## (19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

# 特開平11-68962

(43)公開日 平成11年(1999)3月9日

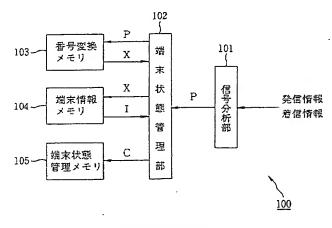
(51) Int.Cl. <sup>6</sup> H 0 4 M H 0 4 Q	3/42 7/38 3/545 3/58	識別記号 106	H04Q	3/545 3/58 7/26 7/04	1 0 6 1 0 9	D	(全 5 頁)
(21)出願番号(22)出願日	(21)出願番号 特願平9-220365 (22)出願日 平成9年(1997)8月15日		(71)出願人 000000295				

## (54) 【発明の名称】 構内電子交換機の空塞管理装置

## (57) 【要約】

【課題】 準公衆ローミングサービスを使用しているコードレス移動機に対して事業所内システムコードレスサービスによる発信があったときに、このコードレス移動機が話中状態であることを、かかる事業所内システムコードレスサービスによる発信者に認識させる。

【解決手段】 端末状態管理メモリ105が話中/非話中情報を端末情報ごとに記憶する。また、コードレス移動機が準公衆ローミングサービスの通話を開始する際に、端末状態管理部102が、まず番号変換メモリ103でPS番号を内線番号に変換し、次に端末情報メモリで内線番号を端末情報に変換し、さらに端末情報に対応する話中/非話中情報が話中状態となるように端末状態管理メモリ105の記憶情報を書き換える。



実施の形態の構成図

BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の電話番号を用いた事業所内システ ムコードレスサービスと第2の電話番号を用いた準公衆 ローミングサービスとを同一のコードレス移動機に提供 する構内電子交換機の空塞管理装置において、

1

話中/非話中情報を前記第1の電話番号に対応させて記 憶する端末状態管理メモリと、

前記コードレス移動機が前記準公衆ローミングサービス による通話を開始する際に、前記第2の電話番号をこの 準公衆ローミングサービス用の通信回線またはこのコー 10 ドレス移動機から取得して前記第1の電話番号に変換 し、この第1の電話番号に対応する前記話中/非話中情 報が話中状態となるように前記端末状態管理メモリの記 億情報を書き換える端末状態管理部と、

を備えることを特徴とする構内電子交換機の空塞管理装 置。

【請求項2】 前記端末状態管理部が、前記コードレス 移動機が前記準公衆ローミングサービスによる通話を終 了した後に、前記話中/非話中情報が非話中状態となる ように前記端末状態管理メモリの記憶情報を書き換える ことを特徴とする請求項1に記載の構内電子交換機の空 塞管理装置。

【請求項3】 前記第1の電話番号を前記第2の電話番 号に変換するための情報を記憶する番号変換メモリと、 前記第2の電話番号を前記コードレス移動機の端末情報 に変換するための情報を記憶する端末情報メモリとをさ らに備え、且つ、前記端末状態管理メモリが前記端末情 報ごとに前記話中/非話中情報を記憶することを特徴と する請求項1または2に記載の構内電子交換機の空塞管 理装置。

#### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】この発明は、同一のコードレ ス移動機を用いて、事業所内システムコードレスサービ スと準公衆ローミングサービスとを提供する、構内電子 交換機の空塞管理装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来より、構内電子交換機として、事業 所内システムコードレスサービスと準公衆ローミングサ ービスとを併用した交換機が知られている。ここで、事 40 業所内システムコードレスサービスとは、事業所内の内 線通話および外線通話をコードレス電話機で行うサービ スをいう。また、準公衆ローミングサービスとは、事業 所内システムコードレスサービスのための設備を利用し て移動通信(例えば簡易型携帯電話等による通信)を可 能にするサービスをいう。

【0003】これら二種類のサービスを同一のコードレ ス移動機で利用できることとした場合、かかるコードレ ス移動機は、二種類の電話番号を持つこととなる。すな

ときは内線番号を使用し、また、準公衆ローミングサー ビスを利用するときはPS番号(移動通信用の電話番 号)を使用する。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】図5は、従来の構内電 子交換機を用いたシステムの構成を概念的に示すブロッ ク図である。

【0005】同図に示したように、構内電子交換機50 1には、事業所外との通信を行うための通信回線とし て、一般の電話回線502と移動通信用の電話回線50 3とが接続されている。また、この構内電子交換機50 1は、複数個の基地局504,504,・・・にも接続 されている。そして、各基地局504,504,・・・ と各コードレス移動機505,505,・・・との間で 無線通信が行われる。

【0006】このようなシステムにおいて、二台のコー ドレス移動機505間で内線通話を行う場合の空塞管理 (すなわち話中/非話中の管理)は、構内電子交換機5 01が、論理情報(発信側のコードレス移動機505か ら取得した発番号情報および着番号情報)から発信側お よび着信側の内線番号を認識し、これらの内線番号に相 当する内線を話中状態に設定することにより行ってい た。

【0007】また、一般の電話回線502を用いた外線 通信を行う場合の空塞管理は、発信の場合はコードレス 移動機505から取得した論理情報、受信の場合は電話 回線502等から取得した着番号情報等から発信側或い は受信側の内線番号を認識して、かかる内線番号に相当 する内線を話中状態に設定することにより行っていた。

【0008】一方、移動通信用の電話回線503を用い た通信の場合には、コードレス移動機505から取得し た物理情報(コードレス移動機505と交信している基 地局を表す情報)が示す基地局504と電話回線503 とを構内電子交換機501内のPHSインタフェイスユ ニット(図示せず)を介して接続することにより、通常 の移動通信とまったく同様の通信が行われる。すなわ ち、コードレス移動機505が発信する場合および着信 する場合ともにPS番号のみが使用され、内線番号とし ての発番号情報や着番号情報を構内電子交換機501が 取得することはない。

【0009】従って、この場合の空塞管理は、移動通信 の事業者によって行われるのみであり、構内電子交換機 501によっては行われない。

【0010】このため、準公衆ローミングサービスを利 用しているコードレス移動機505に対して他のコード レス移動機505或いは事業所外の通信端末から発信を 行う場合、話中/非話中を判断することができるのは準 公衆ローミングサービスを使用したとき(すなわちPS 番号を用いて発信したとき)のみであり、事業所内シス わち、事業所内システムコードレスサービスを利用する 50 テムコードレスサービスを用いたとき(すなわち内線番

30

号を用いて発信したとき)には話中/非話中を判断する ことができなかった。

#### [0011]

【課題を解決するための手段】この発明は、第1の電話 番号を用いた事業所内システムコードレスサービスと第 2の電話番号を用いた準公衆ローミングサービスとを同 一のコードレス移動機に提供する構内電子交換機の空塞 管理装置に関するものである。

【0012】そして、事業所内システムコードレスサー ビスにおける話中/非話中情報を第1の電話番号に対応 10 させて記憶する端末状態管理メモリと、コードレス移動 機が準公衆ローミングサービスによる通話を開始する際 に、第2の電話番号を準公衆ローミングサービス用の通 信回線またはコードレス移動機から取得して第1の電話 番号に変換し、この第1の電話番号に対応する話中/非 話中情報が話中状態となるように端末状態管理メモリの 記憶情報を書き換える端末状態管理部とを備える。

【0013】このような構成によれば、第2の電話番号 を第1の電話番号に変換して空塞管理を行うので、事業 所内システムコードレスサービスを用いて発信したとき、20 でも、準公衆ローミングサービスに対する話中/非話中 を判断することができる。

#### [0014]

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態につ いて、図面を用いて説明する。なお、図中、各構成成分 の大きさ、形状および配置関係は、この発明が理解でき る程度に概略的に示してあるにすぎず、また、以下に説 明する数値的条件は単なる例示にすぎないことを理解さ れたい。

【0015】図1は、この発明に係る空塞管理装置10 30 0の要部構成を概略的に示すブロック図である。なお、 この空塞管理装置100は、従来の場合と同様のシステ ム (図5参照) において、構内電子交換機501内に設 けられる。

【0016】同図において、信号分析部101は、準公 衆ローミングサービス用の通信回線503またはコード レス移動機505 (図5参照)から発信情報または着信 情報を入力する。そして、この信号を分析して、サービ スの種類やPS番号等を認識する。

1からPS番号Pを入力する。そして、後述するように して、番号変換メモリ103を用いてPS番号を内線番 号に変換した後、端末情報メモリ104を用いて内線番 号を端末情報に変換し、さらに、端末状態管理メモリの 記憶情報を書き換える。

【0018】番号変換メモリ103は、PS番号Pと内 線番号Xとの対応関係を示す表(以下「変換表」と記 す)を、例えばバイナリデータとして記憶している。図 2に、この変換表の一構成例を概念的に示す。同図にお いて、各PS番号P。,・・・、P。と、これらのPS 50 換する(S304)。この変換に当たっては、まず、端

番号P。, ・・・, P。に対応する内線番号X。, ・・ ·, X。とが、バイナリデータとして記憶されている。 また、これらは、PS番号の値が小さいものから順に格 納されている。すなわち、図2において、P。<・・・ < P. < · · · < P. である。

【0019】端末情報メモリ104は、内線番号Xと端 末情報Iとの対応関係を例えばバイナリデータとして記 憶している。ここで、端末情報とは、コードレス移動機 505ごとに付された識別番号を示す情報である。この 端末情報メモリ104の内部構成としては、従来の事業 所内システムコードレスサービスで使用しているものと 同じ構成を採用することができるので、説明を省略す

【0020】端末状態管理メモリ105は、端末情報C と話中/非話中情報との対応関係を記憶する。ここで、 話中/非話中情報とは、それぞれのコードレス移動機5 05が通話中(話中状態)であるのか否かを示す情報で ある。なお、この端末状態管理メモリ105の内部構成 も、従来の事業所内システムコードレスサービスで使用 しているものと同様の構成を採用することができるの で、説明を省略する。

【0021】次に、図1に示した空塞管理装置100の 動作について、図3および図4を用いて説明する。

【0022】図3は、コードレス移動機505から発信 を行った場合の概略フローチャートである。

【0023】かかる場合には、まず、コードレス移動機 505の発信情報を、信号分析部101が受信する(S 301)。

【0024】次に、この信号分析部101が、上述の発 信情報から、PS番号情報要素(サービスの種類やPS 番号等を含む情報)を抽出する。そして、このPS番号 情報要素に基づいて、このコードレス移動機505が要 求しているサービスが事業所内システムコードレスサー ビスであるのか或いは準公衆ローミングサービスである のかの判断を行う(S302)。

【0025】ここで、コードレス移動機505が要求し ているサービスが事業所内システムコードレスサービス である場合は、信号分析部101は動作を終了する。な お、この場合には、空塞管理装置100内の他の構成部 【0017】端末状態管理部102は、信号分析部10 40 (図示せず)が、従来と同様にして、かかるコードレス 移動機505に事業所内システムコードレスサービスを 提供する。

> 【0026】一方、コードレス移動機505が要求して いるサービスが準公衆ローミングサービスである場合 は、信号分析部101は、PS番号情報要素からPS番 号Pを抽出して、端末状態管理部102に転送する(S 303)。

> 【0027】そして、端末状態管理部102が、番号変 換メモリ103を用いて、このPS番号を内線番号に変

末状態管理部102が、番号変換メモリ103に記憶された変換表(図2参照)から、PS番号P。,・・・,
P。の中央の値であるP。を読み出して、信号分析部101から入力されたPS番号Pと比較する。そして、P。>Pの場合は、変換表から、値が小さくなる方向にPS番号Pと一致するものを探す。一方、P。<Pの場合は、変換表から、値が大きくなる方向に各PS番号Pと一致するものを探す。そして、Pと一致するものを探す。そして、Pと一致する値が読み出して、PS番号Pと一致するものを探す。そして、Pと一致する値が読み出した。

【0028】次に、端末状態管理部102が、この内線番号に対応する端末情報を、端末情報メモリ104から読み出す(S305)。

【0029】そして、端末状態管理部102が、端末状態管理メモリ105の話中/非話中情報を書き換える。 すなわち、この端末情報に対応する記憶領域に話中状態 を示すデータが格納される(S306)。

【0030】これにより、他のユーザが事業所内システムコードレスサービスを用いたとき(すなわち内線番号を用いて発信したとき)には、空塞管理装置100内の他の構成部(図示せず)が端末状態管理メモリ105内の話中/非話中情報を読み出すことにより、話中/非話中を判断することができる。

【0031】なお、通話終了時には、端末状態管理部102が、端末状態管理メモリ105の話中/非話中情報を非話中状態に書き換えることとすればよい。

【0032】図4は、準公衆ローミングサービスを用いてコードレス移動機505が事業所外の移動端末から着 30 信した場合の概略フローチャートである。

【0033】かかる場合には、まず、構内電子交換機501内に設けられたPHSインタフェイスユニット(図示せず)に電話回線503から提供された着信情報を、信号分析部101が受信する(S401)。

【0034】次に、図3の場合と同様、この信号分析部 101が上述の着信情報からPS番号情報要素を抽出 し、さらにPS番号情報要素からPS番号Pを抽出し て、端末状態管理部102に送る(S402)。

【0035】そして、端末状態管理部102が、番号変 40 換メモリ103を用いて、このPS番号を内線番号に変 換する(S403)。この変換は、図3の場合(S30 4参照)と同様にして行うことができる。

【0036】続いて、端末状態管理部102が、図3の場合(S305,306参照)と同様にして、この内線番号に対応する端末情報を端末情報メモリ104から読み出し(S404)、さらに、端末状態管理メモリ105の話中/非話中情報を話中に費き換える(S405)。

【0037】これにより、他のユーザが事業所内システ 50

ムコードレスサービスを用いたときには、空塞管理装置 100内の他の構成部(図示せず)が端末状態管理メモリ105内の話中/非話中情報を読み出すことにより、 話中/非話中を判断することができる。

【0038】なお、通話終了時には、端末状態管理部102が、端末状態管理メモリ105の話中/非話中情報を非話中状態に書き換えることとすればよい。

【0039】このように、この実施の形態に係る構内電子交換機の空塞管理装置によれば、移動通信を行っている(準公衆ローミングサービスを使用している)コードレス移動機505に対して、他のコードレス移動機505或いは事業所外の通信端末から事業所内システムコードレスサービスによる発信を行った場合でも、話中/非話中を判断することができる。

【0040】なお、この実施の形態では、空塞管理装置 100の要部として、準公衆ローミングサービスを使用しているコードレス移動機505に対して事業所内システムコードレスサービスによる発信があったときに発信者が話中状態であることを認識するための構成のみを示したが、ほぼ同様の構成により、事業所内システムコードレスサービスを使用しているコードレス移動機505に対して公衆ローミングサービスによる発信があったときに発信者が話中状態であることを認識するための空塞管理装置を得ることも可能である。但し、この場合には、番号変換メモリ103は、内線番号をPS番号に変換するように構成する必要がある。

#### [0041]

【発明の効果】以上詳細に説明したように、この発明によれば、準公衆ローミングサービスを使用しているコードレス移動機に対して事業所内システムコードレスサービスによる発信があったときに、このコードレス移動機が話中状態であることを、かかる事業所内システムコードレスサービスによる発信者に認識させることが可能となる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の実施の形態に係る空塞管理装置の要部構成を概略的に示すブロック図である。

【図2】この発明の実施の形態に係る番号変換メモリが 記憶する変換表の一構成例を示す概念図である。

【図3】この発明の実施の形態に係る空塞管理装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【図4】この発明の実施の形態に係る空塞管理装置の動作を説明するためのフローチャートである。

【図5】従来の構内電子交換機を用いたシステムの構成 を概念的に示すブロック図である。

#### 【符号の説明】

100 空塞管理装置

101 信号分析部

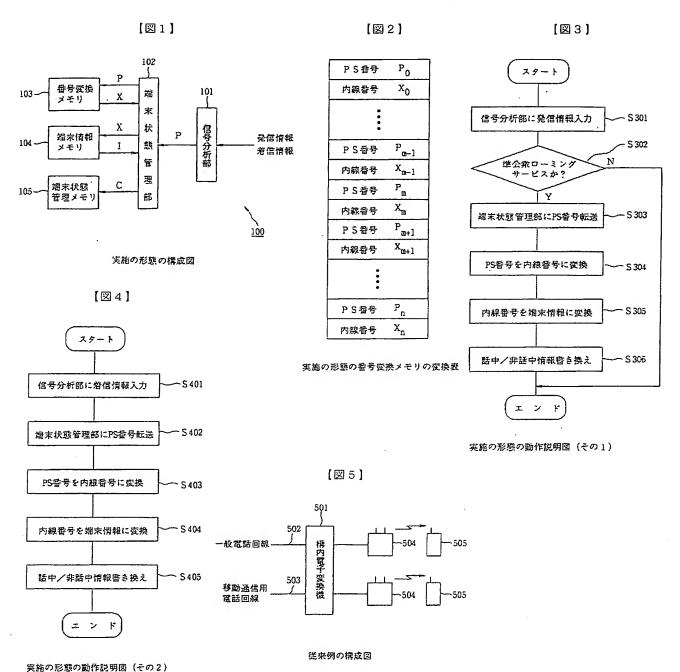
102 端末状態管理部

103 番号変換メモリ

(5)

104 端末情報メモリ

\* \*105 端末状態管理メモリ



BEST AVAILABLE COPY